

令和4年度 第5回 新見市地域公共交通会議議事録

日時 令和5年1月12日(木) 13:30~15:00

会場 新見市役所3階 第1委員会室

1. 開 会

会議成立報告

2. 会長挨拶

3. 報告事項(1件)

1) 新見市予約型乗合タクシー「千屋・神郷乗合タクシー」実証運行の利用状況について

・事務局より説明、報告

(会 長) 60日間運行し多くの方に乗っていただいたが、乗っていただいた方からの要望や感謝の声や曜日別の傾向など、60日間運行してみて事務局で何か把握していることがあれば教えていただきたい。

(事 務 局) 「利用方法が分かりにくい」といった意見もあるが、利用者からはおおむね好評をいただいている。

(委 員) 今までのバスに比べて、どの程度の利用割合なのか。

(事 務 局) 神郷地域の元々市営バスが走っていた地域での乗車の傾向は、月によって始まったばかりで落ち着いていないところがあるが、昨年度と今年度の比較をしていた中では、おおむね市営バスと同程度の傾向にあると見ている。昨年から運行している哲西地域でも、運行当初は利用が伸び悩んだ状況であったが、今年度は利用実績が増えてきている。今実証期間が3か月程度終わったが、今後利用方法等が浸透していけば、利用が徐々に増えていくと考えている。備北バスの千屋線は、朝夕の高校生が利用のメインで通学通勤に利用される場合が多いが、そのような便は残しており、8時半から16時くらいまでの乗合タクシーの運行時間中は、路線バスを休止している状態である。元々の路線バスは本当に利用が少なく、利用者数の調査では0の便もあり、その他の便でも少数の利用しかなかった。その時間帯に乗合タクシーを運行することによって、千屋地域での利用が増えて12月は243人の方が利用し、非常に大きな効果があったと考えている。

(委 員) 千屋・神郷乗合タクシーの利用登録者の中で、千屋と神郷の割合はそれぞれどれくらいなのか。「利用方法が難しい」などという声を聞くが、たくさんの方が利用されているようで、その中で神郷の方の利用登録はどのくらいなのか伺いたい。それから、横見のバス停から「ら・くるっと」などで市街地に向かうために乗合タクシーを利用する方がいらっしゃるのか、それよりも自宅から診療所や郵便局までといった利用だけなのか伺いたい。

(事 務 局) 登録者数の千屋地域と神郷地域の割合について、正確な数値は手元に無い

が、登録者数は千屋地域の方が少し多い気がする。横見で乗り換えをする方は多い状況である。神郷地域の乗合タクシーの状況では、自宅から横見バス停まで行って、渡辺病院や長谷川病院まで向かう方もいるし、地域の郵便局やJAなど近くまで利用する方もいる。回数としては横見まで行って渡辺病院や長谷川病院まで向かう方の方が多い印象がある。ただそれは固定の方々であり、地域内の移動に使うの方々の方が人数のトータルとしては多い。

- (会 長) 運行日数は60日であったが、最終的にはいつまでで何日の予定なのか。
(事務局) 実証運行の区切りとしては、今年度の3月末までを考えている。

4. 協議事項 (2件)

1) 備北バス「横見－サンパーク線」の停留所の新設について

・事務局より説明

- (委 員) 公安としては、必要最低限の条件を満たしていれば許可を出すとのことであった。そのため前の場所であっても、例えば道路管理者に協力してもらって「この先バス停注意」と路面に表示してもらうなど、バス停があることを目立たせるようにすれば問題はないのではないかという協議結果であった。私もフレスタへ行ってUターンしてみたが、私の車では1回でUターンできず、再度バックする動作が必要となってしまう、その辺の安全性を考えて決めた方が良いのではないか。
- (委 員) 横断歩道を移設してバス停を道路の真ん中に持ってくる方が安全かと思うがどうだろうか。
- (委 員) 横断歩道の移設は信号も移設しなければならず、仮に移設することになると、早くても1年は見越して考えなければならないし、本部と協議して難色を示した場合は、期間がかなり先のことになってしまう。信号の要望は色々あるが10年待ちの所もあるため、信号の移設は早急に対応できない。
- (委 員) ここをバスが通る時間帯は非常に限られた時間でサンパークへ行く便だけである。月曜日から金曜日までのバスが通る時間帯に、フレスタに入る車は多いわけではなく、前の場所でも無理はないのではないかと思っている。車で行くことができない人は、荷物を持ってそこまで歩くのはものすごく大変なことだと思う。一度やってみて後で決めるということではできないのか。時間や曜日を考えてみても、そんなに心配するほどの渋滞は起きないのではないか。
- (会 長) バスが停まるタイミングにどれくらいの交通量があって、安全性の面でそこにバス停があると危ないという話であれば問題であるが、先程の報告にもあったが、警察で検討をしていただいて、特段何か問題があるということでもないかもしれない。商業施設の駐車場を削ってもらって、1メートルでも横に入れるようなバスベイができれば大分楽だろうと思うが、そうい

- うことはできないのか。
- (事務局) このいずれかの場所で停留所の仮設を早め実施させていただき、利用者がかなりいる状況であれば、フレスタやウエルシアの駐車場を利用させてもらうことも検討させていただきたい。
- (委員) 先ほど話にあった交通量についてであるが、圧倒的に朝夕の交通量が多い。新設した横見-サンパーク線の時刻であるが、横見発が10時、11時、13時、14時、15時で、1時間に1本出ている。その時間の交通量は、そこまで多くない。通勤時間帯の交通量が多く、そこでバスを停めることはないと思うが、「ら・くるっと」はその時間帯に走っている。「ら・くるっと」も新しい停留所の対象なのか。
- (事務局) その辺りは備北バスとの協議になると思うが、バス停ができれば、「ら・くるっと」も同じ所を走っている系統では利用することになると思う。
- (委員) バスベイを作るスペースがあるかどうかの話であるが、実際その現場を見てみると、南進だと長谷川病院と歩道の間に垣根があり、長谷川病院がそこを提供しても良いということになれば、その部分はバスベイが可能だと思うが、土地の買収問題になるため時間がかかるのではないと思う。北進については、当初予定されていたバス停の所に三角形の空き地があり、ここがバスベイにできそうだ。ここも民地だと思うが、行政の力が必要かもしれない。
- (会長) 「ら・くるっと」も当然停まるだろうということだが、1時間に1回あれば良い方で、それほど問題になる話ではなさそうである。例えばタクシーが停まって乗り降りする際も同じような状況になるため、頻度としてはそれほど神経を尖らせる必要もないが、場所がこれで良いかどうかという点だけが議論になる。今回事務局に合計5か所出させていただいているが、事務局としてはお勧めの所があるのか。
- (事務局) 利便性や許可が出る範囲を考えると、第3回に提案させていただいた所が良いと考えている。
- (会長) 警察協議でも一応は大丈夫であるとなったため、利便性や横断歩道の位置を考えると最初の案の方が良いのではないかと。
- (委員) 許可は出るが、安全性を考えて道路管理者の協力を得て、道路標示をしたり看板を設置したりしてバス停があることをアピールしたら更に安全対策ができるのではないかと助言を受けている。
- (委員) フレスタの前の区間は全面的にフレスタから出てくる車がある関係で、通り過ぎる車は右側を走り、フレスタなどへ入る車は左を走っている状態である。そのことに慣れていない人が入ってくると危険があるのではないかと思い、前回意見を言わせていただいた。反対側も長谷川病院の出入りがあり、バス停をどこに移動させても危ないという話であった。
- (会長) 運転のレベルや場所に慣れていないかどうかで色々な運転の仕方があり、そのばらつきはどうしてもある。本当は施設側ときちんと交渉をしてバスベ

- イを作るのが一番良いと思うが急にはできないため、第3回で提案していただいた所に、警察と更に安全対策の方法を協議し、バス停を新しく設置した直後は混乱する可能性があるため、手厚く対応していただくということで、第3回の案で進めたらどうかと思うが、皆さんはいかがだろうか。
- (委員) 長谷川病院へ入る車線を作るまではいかななくても、病院へ入る車をかわせるくらいの幅を取ることはできないのか。
- (委員) 今日道路管理の担当が来ていないため、私の感触での話になってしまうが、当初の案の場所にバス停を設置するとなると、何らかの注意喚起するものを整備しないと問題が起きるかもしれないという話であった。それから先程ご提案いただいたのが、道路の拡幅や縁石の位置調整であったが、この場合だと可能かどうかの議論も含めて大分時間がかかると思う。先ほど一度試しにやってみるといった話があったが、事務局から出ている第3回の提案場所であれ、今回の代案であれ、どちらも善し悪しがある状況である。一旦どちらかの案で進めてみた上で、現状を見ながら事務局でバス停の位置の移動をもう一度調整する考え方もあるのかと思う。
- (委員) Uターンに使われる場所が南北にあるが、これを埋めてしまうというのはどうだろうか。Uターンする場所をもう1つ遠くにしてしまえば、問題が解消するのではないか。
- (委員) 恐らくフレスタやウエルシアとの調整があって中央分離帯を切っていると思うため、そこを潰すとなると営業妨害の側面も出てくる。
- (委員) 南進はUターンまでの距離が約40メートルあるためそのままの場所で良いと思うが、北進の方をもう少し下げたら、南進北進ともにそれなりのUターン場所までの距離が取れるのではないか。北進側のバス停を、第3回の案の位置からセンターライン2つ分くらい南へ動かすのはどうだろうか。
- (事務局) 北進側の場所を南に動かすと、フレスタの出入口に近くなる。
- (委員) 南進の方の横断歩道より出入口からの距離を考えると、北進の方も結構寄せることができるのではないか。第3回の案の位置が横断歩道から約20メートルの所で、ウエルシアの出口も同じぐらいの所ではないのか。横断歩道南側の10メートルくらいの所に駐車場からの出口があるのではないか。横断歩道と南進側にある第3回のバス停予定場所の真ん中くらいにウエルシアの出入口があるため、横断歩道に対して南北ともに同じくらいの距離を取っても良いのではないか。北進の方が出口との距離を十分に取っているのは、利用者数の違いからなのか。私自身は北進の方がUターンするのに難しいのではないかと思うが、少しバス停を動かしてあげれば、それなりに皆さんUターンできるのではないかと思う。
- (会長) 例えば南進側は第3回の案のままで、北進側のバス停を3番の所まで持っていくのはどうだろうか。
- (委員) 北進は3番で、南進は第3回の案の位置が良いのではないかと思った。
- (委員) 3番が良いと思う。危険性で言えば、北進側のUターンポイントだけでも塞

ぐことはできないのか。長谷川病院へ入るのに、Uターンした後一時停止して入らなければならないため危険で、そこで事故をした人もいる。もう少し先でUターンすれば、Uターン後すぐ一時停止することもないため危なくないと思う。そうすれば北進側もバス停の位置は第3回の案のままでいけると思う。

(事務局) 皆さんから発言いただいたご意見を聞いて、北進側は3番で南進側は従来の位置にするという選択肢もあると思った。先程言われたように、バス停の表示など設置する調整をするようにしたいと考えている。

(委員) 安全性を担保した上で決めていただきたいため、安易に決定づけないでいただきたい。私も個人的には南進は第3回の案で北進は3番で良いかと思っている。

(会長) 事務局としては4月から開始するというのを念頭に置いて議論していただいているが、この状況で決めるのは非常に難しそうであるため、今日は欠席されているが道路管理者の方と警察と、再度事務局の中で話し合ってもらっていただく。あるいは実際に混んでいる時間帯にバスを停めてみてどうなのか、公道で実験をしてみてもらおう。その上で結論を会議に掛け直していただければと思う。「ら・くるっと」や路線バスが停まった時にどういう状況になるか、危険性がないと確認した上でもう1回諮ってもらいたい。

2) 新見市地域公共交通計画（素案）について

・事務局より説明

(会長) 前回の議論を経た上で、色々修正していただいている。どの部分でも構わないが何かお気付きの点があれば発言していただきたい。先程事務局から説明があったように、この会議の終了で次のステップのパブリックコメントに進みたい。

(委員) 公共交通計画については令和2年に「地域公共交通及び活性化に関する法律」が一部改正となり、今「ら・くるっと」が国庫補助金をもらって運行している所については、計画の中に補助金が必要な理由などを計画の中に盛り込んでおかなければならない。今後来年の6月以降そのようなことが記載されてなければ、補助金の受給対象から外れる。令和7年度事業から対象となり、その締め切りが令和6年の6月である。あと1年はあるが、この期の際に対応しておいた方が良いのではないかと考えていて、20ページや55ページなどに「フィーダー補助系統」という文言が赤字で記載されているが、これだけでは不十分な部分がある。事務局やコンサル事業者の皆様にはお手を掛けるが、補助金の必要性や「こういった理由で国庫補助系統を存続させる」などといった内容を後日反映させたものを見せていただきたいと思っている。あと「フィーダー補助系統」は、これからパブリックコメントをするにあたり一般の方が分かるのか。資料51ページの脚注に「MaaS」の説明があるため、それと似たような感じで「フィーダー補助系

統」の説明も付けていただければ親切である。

- (会 長) このタイミングで作るため、令和6年まで待つてその時に直すのではなく、今直した方が良い。具体的には、先程おっしゃっていただいた表現で書いておけば良いのか。必要性についてどれくらい述べるのか分かりにくい。
- (委 員) 補助金の関係であるが、来年度一杯の間に対応できていれば問題ないため、このままの案では成立しないということではない。パブコメ等のスケジュールの問題もあり、一旦この案を成立させていただいた上で、来年度補助金を取るために修正をする形でも構わない。ここで反映させた方がスタートはきれいな形になるため最善だとは思うが、パブコメ等のスケジュールを後ろ倒しにして、計画の成立自体が年度末までにできない状態にしてまで直さなくてはいけないのかということ、岡山県の認識としてはこのまま成立させても問題ないと思っている。
- (会 長) パブリックコメントを行い、その後もう1度会議を行って案が確定するというスケジュールを考えていたはずで、パブリックコメントで出た一般の方々からのたくさんのご意見に対して修正の時間も当然取っていると認識している。年度内に成立させることを前提とした上で、運輸支局からご指摘いただいた修正はどれくらい書けば良いのかを確認したいが、いかがだろうか。
- (委 員) どの程度書くかどうかは特に決まりはなく、パンフレットを作っており、「この路線は確保維持が難しいが、重要な交通インフラの1つであるため確保維持が必要で、地域公共交通確保事業により運行します」というようなレベルで良いと思っている。
- (会 長) 今ご説明していただいた文章を少し直す程度の話であれば、今日中に終わってしまう修正だと思うが、事務局では修正可能なのか。
- (事 務 局) 基本的にはここで直して進めていきたいと考えている。
- (委 員) この計画で乗合タクシー事業は3月までが実証運行となっているが、4月からは本格運行という認識で良いか。
- (事 務 局) 乗合タクシー事業については4月からすぐ本格運行に入るのではなく、3月まで実証運行行ってみたご意見や修正点が出ると思うため、検討してできる所は直しながら来年度中のどこかのタイミングで本格運行に移りたいと考えている。ただその間乗合タクシーをやめることは考えておらず、実証運行の形のまま続けていって、修正後の形が整った段階で本格運行に移行したいと考えている。
- (委 員) 最低でも10月からの実施になるが、1年くらいは時間を掛けて進めていきたいという認識で良いか。10月から神郷と千屋地域で乗合タクシー事業が始まって、乗合タクシーの利用方法についていまだに分かっていない方が多くいる。バスを利用していた方が不便になった事実があり、かなりの意見や要望が寄せられているはずである。その中でなんとかしなければならぬ所があれば教えていただきたい。

- (事務局) 実証運行を始めて3か月少々になるが、利用者の方からは「自宅まで来てくれて大変助かる」という声を多く頂く。家がバス停に近い方は不便に思うかもしれないが、バス停までが遠い方が多い地域であるため、両方の意見を考慮してやり方を考えていければと思う。どちらが適しているかはまだ見えてきていないため、実証期間を通じて検証したいと考えている。
- (委員) 神郷地域は、新見市中心部へのアクセスは新郷駅、足立駅、備中神代駅といった駅を中心にしており、乗合タクシー事業で神郷地域の方はおおむね便利になっているのではないと思う。千屋地域については、我々が現場で運行している中で「便利になった」と言う方もいるが、バスを利用している方から「不便になったのでどうしたら良いか」という声も多く聞く。「利用しづらい」という声があり、特に学生は乗合タクシーに抵抗感がある。最近では、新見駅を降りた観光客がその後のアクセスに苦労しているという話を聞く。観光協会の職員にも聞いたが、登録用紙を書いて利用してもらおう説明をしてもなかなか理解してもらえず、多分利用を諦めているのではないと思う。先日私は菅生線に乗っていたが、6、7人の東南アジア系の外国人から「千屋温泉へ行きたい」と質問された。乗合タクシー事業を続けるのであれば、バス乗り場にアクセスの方法を誰が見ても分かるように示してあげなければ、温泉やスキー場へ行く方法が分からない。
- (事務局) 観光客の交通も大事ではあるが、我々はまず、地域の住民がいかに使いやすく公共交通を利用していただけるかということに重点を置いて考えており、そのために乗合タクシーを導入している。新見駅、観光協会、千屋温泉、神郷温泉といった所へは交通体系が変わることのPRをお願いしたが、バス停での表示のご提案については、速やかにご案内できるようにしたいと考えている。できることは全てやっていきたいと考えており、ご理解をよろしくお願ひしたい。
- (委員) 観光客への対応というのは、これから少子高齢化の中で利用客を増やす1つの手段として、すごく重要なものであると思う。需要があるのにそれを放っておくわけにはいかない。定期的に需要があるのであれば、やはりそれに対する何らかの対応はした方が、観光地にもお金が落ちるなど地元にとっても良いことだらけであるため、是非やっていただければと思う。
- (事務局) 言葉足らずなところがあったかもしれない。まずは市民のことを考えたいが、当然観光客のことをおろそかにするということではない。観光面で誘客できる所については、市の観光担当課と連携して進めていきたい。
- (会長) 知っている人のみが見える公共交通ではなく、知らない人がパッと見ても分かる状況にする。観光客が来たらどういう風に見えるのか、バリアフリーも含めて違った視点からどのように見えるのか、そこからサービスを練り上げてほしい。
- (委員) 観光客の取り込みができる範囲でやっていただければと思う。若干論点がずれてしまうが、観光客など初めて新見に来られる方に対するアクセス案

内の方策の1つとして、岡山県としてはスマホを重要視している。グーグルマップで行きたい場所を入れると、そこまでのルートや時間や料金が全部出てくるプラットフォームができています。そこにどの程度まで地域の小さな交通を落とし込めていくのかである。例えば「ら・くるっと」や市営バスも定時運行であれば、岡山県でもデータを用意させてもらうが、グーグルが勝手にデータを取りに来てくれるサイトがあり、そこに置いておくと自動的にグーグルマップに反映され、JRや備北バスや市営バスなど全て通して最適なルートを案内してくれるようになる。データを落とし込む作業が全て手作業になるため、県の方でセミナー等をさせていただき、実際にグーグルが使えるデータに落とし込んでいく作業を新見市では一生懸命行っていて、今大分整理が進んでいる。備北バスでも是非このようなプラットフォームを活用していただきたい。高齢者の方々にはそもそもスマホの使い方を教えていくしかないため、公民館や老人会で周知をしていくことも重要なやり方ではあるが、それと両輪でグーグルマップにデータを落とし込んでいく作業を、手間がかかるとは思うがご協力いただきたい。ITの活用というのも、外国の方や若い観光客の方にはあるとないで、かなり変わってくると思う。

(会 長) 旅行に行く前に家でコースが見ることができるため、取りこぼしがなくなる。民間のバスはもちろん、公営のバスも是非データを入れていただいた方が良いと思う。私から質問だが、67ページのところで数値目標が出ていて「1.2倍程度に増加する」など、期待半分のような数値が出てきているが、大丈夫なのか。最終的にそれで評価していくため、きちんとデータに基づいて決めたものなのか確認させていただきたい。

(事務局) 市営バス等の目標で1.2倍に設定している根拠としては、昨年度から哲西で乗合タクシーの実証運行を行っており、導入後の利用者の動きを見ると段階的に増えてきており、導入前と比べると乗合タクシーと市営バスを足した数字で言うと2倍くらいになっている。当初案では目標を強気に2倍と設定していたが、利用対象の人口も減ってくるためそこまで伸びないだろうということと、乗合タクシーの利用者だけ見るとおおよそ1.2倍くらいの増加が見られるため、1.2倍を目標に設定した。

(会 長) 1.2倍は結構大変な数字である。例えば「市営バス・ふれあいバス・乗合タクシー利用者数(一般)」の下から4行目の所で、「65歳以上の運転免許非保有者は令和3年から令和9年までの6年間で約3割減少すると予想されます。しかし、市営バス・ふれあいバスが運行していない地域への拡大により相殺される」と書いてある。3割減少するものを相殺するということは、「人口ベースで言うとどれくらい増えていて、今までと違ってサービスエリアが広がってくるため、どれくらい対象者が増えて、その中で免許を持っていない人がどれくらいいるから相殺できる」ということが計算された上で、このような表現をしているのか。

- (委員) 哲西で乗合タクシーは皆さん喜んでいる。1人で利用するよりも、2人や3人で利用したという話も徐々に増えており、良い方へ向かっていると思う。
- (会長) そういう話がたくさん出てくると将来が明るく見えてくる。是非ともそのような口コミ作戦を政策に活かさせないか、考えてみていただきたい。
- (事務局) 哲西の話が出て思い出したが、哲西で乗合タクシーを始める前の利用者が月150から160人であったが、乗合タクシーを始めてからは300から400人くらいと2倍近い数値になっている。それが全域に広がったとしたら、外出機会が1人当たり2倍3倍と増えてくることから、相殺されるのではないかと考えており、なんとか達成したいと思っている。
- (委員) 具体的に何か内容についてはないが、横棒グラフで%が同じで長さが違うのは、端数を切っているなどのためなのか。
- (事務局) グラフでは端数を調整しないで表示されている。誤解を与えるところもあるため、同じ%で表示するのであれば合わせた方が良いため、修正したいと思う。小数点以下1桁まで表示をさせることにする。
- (委員) 51ページの「(3) 路線バス乗務員不足への対応」と書いてあり、52ページの2行目では「バス・タクシーの乗務員不足が懸念される」とあるが、51ページで路線バスだけ取り上げているのは、何か理由があればお聞きしたい。
- (事務局) 51ページで路線バスの乗務員不足だけ取り上げているのは、乗合タクシーの導入を進めているところではあるが、幹線を含めてこれまでの主な交通としては、市営バスや備北バスの路線バスが動いてきた。今乗合タクシーの実証運行をしている所では、市営バスを運転していた方に運転をしていただいております、これから乗合タクシーを広げていく上で、路線バスの乗務員が不足するということが大きな課題となるということで、路線バスの乗務員不足だけ取り上げた。
- (会長) 文章の最後に「あらゆる業種を視野に入れて検討するとともに、地域住民による移送サービスや行政による乗務員の雇用支援も検討する必要があります。」とあるが、タクシーには支援しないのかという話になる。もし二種免許の取得補助を創造されるのであれば、路線バスに固定する必要はないのではないか。乗合タクシーのような形で、大型でなくても二種免許は必要で、ここの表現は考えて良いのではないだろうか。
- (事務局) この部分の表現は検討させていただく。
- (委員) 二種免許の取得補助は既に市で行っていると思うが、もう少し出していたけると助かるが是非続けていただきたい。タクシーについては高齢化が進み、人がいないため辞めたくても辞められない状態になっており、利用が少ないこともあり運転手のなり手がいないのが現状である。補助については1度利用させていただいたが、次の運転手の候補がいれば使っていこうと思っている。
- (事務局) 二種免許の取得については、市の商工観光課の方で事業を行っており、各

種資格を取られる方への助成金を交付している。他の職種との兼ね合いもあり、タクシーの運転手だけ増額するわけにはいかないが、ご意見があったことは担当課に伝えておく。タクシーも利用者が少なくなっている状況については、我々も理解しているつもりである。今後タクシーの利用促進も含めて色々な施策ができればと、検討している最中であり、引き続きご協力をお願いしたい。

(委 員) 55 ページの表で、乗合タクシーを哲多、大佐、新見東部、新見南部にも拡大するような形で書いてある。現在バスを運行している事業者に乗合タクシーを運行してもらう話をしていたが、タクシー事業者には一切話が降りてこないのか。市営バスが走っている大佐や、備北バスが走っている新見東部は、その事業者が乗合タクシーを運行するということになるのか。

(事 務 局) 市営バスが運行している地域については、市営バス運行事業者に乗合タクシーの運行をお願いする想定でいる。新見東部、新見南部については、タクシー事業者にも乗合タクシーの運行に協力していただけないか、今後相談をしていこうと考えているところである。

(委 員) 神郷ではタクシー事業者がふれあい送迎を行っていたが、乗合タクシーの運行は市営バスに話を持って行かれた関係もあって気になっていた。

(事 務 局) 今度関係する交通事業者に集まってお話しいただき、我々の計画等を説明させてもらって、意見交換ができればと考えているため、その際にご意見を賜ればと思う。

(委 員) 新見駅にタクシー乗り場はあるが、「タクシー乗り場」と表示されていないため、乗り場に停まっても「タクシーがない」と言われることがある。タクシーを停めるスペースの路面に「タクシー乗り場」と書いてあるが、タクシーが停まっていたら見えない。私が運転するタクシーは普通乗用車にしか見えず、「タクシーがない」と言われてしまうため、「タクシー乗り場」と表示をしてもらいたい。例えば電話番号を書いたプレートを設置するなどして、タクシーがいなければ電話をしてもらえるようにしたい。こちらで設置するように言われればそうするし、こちらで設置していただけるなら、していただきたい。また、乗合タクシーや観光タクシーについては、一般のタクシーの乗務員は何も知らない。聞かれても対応できない運転手もいるため、できれば分かりやすく駅に表示してもらえれば助かる。

(会 長) 情報案内や、あるいはどういう使い方をすれば良いかの基本的な案内が不足している。「一見さんお断り状態」になっているところがあり、地元に住んでいる人でも今日初めて乗合タクシーに乗ろうと思ったら使い方がよく分からないという状態に陥っている。確実に修正していただきたいのは、運輸支局から言われた「1年後に直すのではなく、今回直しましょう」と言われた文章の個所である。それ以外にも、皆様から頂いた意見を修正した上で、パブリックコメントに掛けるようにしていただきたい。事務局の方で責任を持って修正するという前提で、この案を皆様に承認していた

だけるか、パブリックコメントに掛けても良いかどうか、お諮りしたいと思う。

【協議事項承認】

5. その他
なし

6. 閉 会

以上